

議会だより

白山市

2017.8

vol. 49

CONTENTS

議会改革

⑩… 市議会にタブレット型端末機導入

- ②… 6月会議の概要
- ④… 一般質問
- ⑧… 常任委員会レポート
- ⑪… 政務活動費をホームページで公開
- ⑫… 市民の声



いまとはるか
作者／今本悠香さん

新たなまちづくり予算を可決

一般会計補正予算

4億5700万円の審査を行いました。



議員

用排水施設の水門付近で事故があった。まだ危険な箇所はたくさんあるので整備してほしい。

.....
七ヶ用水土地改良区と合同点検を実施しており、危険な箇所はつかんでいるので、危険な所から計画的に修繕していきたい。



市



議員

徳光町の市道改良事業は具体的にどのような内容になるのか。

.....
県道金沢美川小松線のはくさん街道市場横の4車線化が終わり、旧県道が市道として振り替えになったことから、はくさん街道市場に入口を設けて、残りの敷地を駐車場として整備したい。



市



議員

四十万安養寺線整備事業について、野々市市と連携しているのか。

.....
野々市市が県道野々市鶴来線までの工事を終え、引き続き白山市側の方に入るので、野々市市の進捗状況に合わせて用地費を補正して道路の整備に入りたい。



市



議員

教育指導について、国や県の研究指定は何校か。研究発表を控える学校は時間外労働が増えるが、人を増やすという発想はできないか。

.....
研究発表校は7校になる。7校のほかに来年度発表する学校は4校になる。発表校ではない学校も日ごろ校内研究しており、人の配置はなくても大丈夫と考えている。



市



議員

市内の污水处理施設を統合することで、増設する必要はないのか。

.....
見直しをしていくと各施設の処理能力はある。松任中央浄化センターについては、1系統増設することで将来的にも増設はないと考えられる。



市



議員

MICS事業について、し尿処理で一部事務組合での運営という形をとらなくてもいいのか。他の自治体から建設費を負担していただくことはできないのか。

.....
組合運営はできないので、各自治体間との協定を結んでいきたい。建設費については、使用料の中に含まれている。



市



白山市共生のまちづくり条例で、新たに組織する支援協議会では、就職の相談等の助言やあっせん、会社との間に入ることはあるのか。

議員

.....
差別等の相談があったときに市の方で調整するが、事案によっては協議会に話を上げ協議していただき、解決策としてあっせんや助言をする。



市



後期高齢者医療保険料と国民健康保険税の軽減判定誤りは、全国的な問題なのか。対象者への通知や説明は。

議員

.....
ほとんどの市町村が国の電算処理システムで判定しており、全国的な問題になる。後期高齢者医療保険料の過誤納付の不足分については、謝罪も含めて説明とお願いを各市町で行うことになる。



市



松任海浜温泉の送迎車試験運行は、指定管理者の当初の思いと比べてどうだったか。

議員

.....
試験運行には10人乗り車両を使用しており、利用人数から見れば当初の思惑どおりの運行であると考えられる。



市



ふるさと保養センター清流の営業休止について、市としての方針は。

議員

.....
現在営業をしている業者が撤退することから、再度公募することになるが、建物がかかり傷んでおり、今の状況で宿泊施設として営業するのはかなり難しい。地元の意見も聞きながら、ほかの活用ができないか協議する。



市

国の
関係機関へ
提出



意見書

「歩育基本法」の制定を求める意見書

(提出者：安実隆直)

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

(提出者：山口俊哉)

6月会議に提出された、平成29年度白山市一般会計補正予算、白山市共生のまちづくり条例などの20議案は、全会一致をもって全て可決しました。

一般質問

議員が市の一般事業に対して、執行の状況または将来の方針、政策的な提言などを行います。一問一答形式による質問時間は、1議員30分以内です。

6月会議の一般質問は、6月13日、14日の2日間にわたり行われました。



13日の質問議員

山口 俊哉 議員	4 ページ
村本 一則 議員	5 ページ
大屋 潤一 議員	5 ページ
田代 敬子 議員	5 ページ
池元 勝 議員	5 ページ
中野 進 議員	6 ページ
宮岸 美苗 議員	6 ページ

一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

市ホームページで議会録画映像の配信や、「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になることができます。



14日の質問議員

清水 芳文 議員	6 ページ
寺越 和洋 議員	6 ページ
吉本 史宏 議員	7 ページ
南 清人 議員	7 ページ
石地 宜一 議員	7 ページ
安田 竹司 議員	7 ページ



<http://www.city.hakusan.ishikawa.jp/>

ポロシャツ議会

白山開山1300年のPRとしてクールビズ期間中、職員が白山の「さん」にちなみ3の付く日に記念ロゴマーク入りポロシャツを着て勤務をしています。そこで議会でも機運を盛り上げるため執行部と歩調を合わせ、ともにポロシャツを着て議会に臨みました。



山口俊哉 議員



公立保育所の新築、改築の計画は



その必要性について検討を行っていききたい

質問

公立保育園の新築、改築の計画は。双葉保育所は拡張も含め早急に改修すべきでは。

答え

今後、建物の老朽度や児童数の推移などを考慮しながら、その必要性について検討していきたい。双葉保育所については、鶴来地域北部に位置し、児童数が増加し、今後入所児童の調整が困難となる状況が見込まれる。施設の老朽化も進んでいる状況から、他の公立保育所の老朽化なども考慮し、増築や改修の必要性を見極めながら検討を行いたい。

他の質問

こども食堂、宅配ボックス、保育士の時間外労働、教職員の昼休憩など



村本一則 議員

Q 市民協働のまちづくりと関連のある市民予算は

A (仮称) 地域予算制度創設に取り組む

質 問 市民協働のまちづくりと関連のある市民予算。先進地では均等割、世帯割、面積割、事業割で交付している内容だった。市民予算はどんな形態で創設するのか。

答 え 地域が取り組む活動に対する財政支援、財源が別にあるわけではないので、各種団体との調整や既存の制度を見直し(仮称)地域予算制度の創設に向け、市民や各種団体に協力を求め進めたい。

他の質問 まちづくり会議、高齢者移動支援、職場体験、東京事務所、組織機構など



大屋潤一 議員

Q ニホンザルの個体数と市街地への進出状況は

A 県内の大多数が本市に生息し、平野部に近づいている

質 問 ニホンザルの個体数、市街地への進出状況とモンキードッグ事業の進捗状況と予想される効果は。

答 え 県内32群、1,680頭の内の29群が本市に生息しており、年々平野部に近づいている。モンキードッグは犬1匹で約30頭の群れを追いかけることが可能であり、下木滑区から応募があったため柴犬1匹を購入したところである。サル以外にもイノシシやシカにも有効であり、クマを人里に近づけないという効果も期待している。

他の質問 国民健康保険の人間ドックの検査メニュー、通学路の安全について



田代敬子 議員

Q 「ヘルプカード」の導入を

A 当事者団体から積極的な意見があれば前向きに対処を

質 問 発達障がいや内部障がい等、目に見えにくい障がいのある人が一目で分かる「ヘルプカード」の導入を図れ。

答 え カードには住所・氏名や周囲の人に配慮してほしいことなどが記載されており、日常生活だけでなく緊急時にも本人情報を取得する有用な取り組みである。当事者の障がい者団体からの意向を調査し、積極的な意見がいただければ前向きに対処したい。

他の質問 外国をルーツに持つ児童生徒への教育支援、AEDの屋外設置など



池元 勝 議員

Q 第2次総合計画の推進について

A 民間で活動する団体等との連携と協働を深めたい

質 問 将来都市像の実現に向けてたくさんの施策を講じる中、もっと市民や企業、さまざまな団体に任せて、民間の知恵や力を借りればどうか。

答 え 県内6つの大学と包括連携協定を結び活動しており、市内の青年5団体は「ALL白山青年サミット」として交流・連携を図り、活動を始めている。「協働のまちづくり」や「産学官金の連携」などを掲げ、民間主体で活動する団体等とより一層の連携と協働を深めていきたい。

他の質問 第2次総合計画、キャニオンロード、道の駅めぐみ白山について



中野 進 議員

Q 市民の災害に対する危機意識の啓発策は

A 情報の発信を継続的に実施し、周知・理解に努める

質 問 市民の災害に対する危機意識が足りていないと思われるが、地域防災体制の充実を図るための危機意識の啓発策は。

答 え 白山市は地域によって災害の種類・規模が異なるため、災害への危機意識の向上は極めて重要な課題である。情報の発信を継続的に実施し、ホームページ、各地区の防災訓練等において周知し、理解に努めたい。防災訓練が実施されていない地域の実施への啓発に努め、情報に敏感になっていく啓発をしたい。

他の質問 めぐーの浸透施策、免許証自主返納支援強化、見守りボランティアへの助成



宮岸美苗 議員

Q 高齢者や障がいのある人など交通弱者の移動支援策を

A NPOなどが移動支援に取り組むなら支援したい

質 問 市民にとっては「めぐー」の利便が良くなることが重要だが、現状では課題が多い。交通弱者への移動支援策の拡充を。

答 え 運転免許証自主返納者への支援策や、要介護認定者へのタクシー料金助成制度もあり、支援の拡充は考えていない。しかし、介護予防・日常生活支援総合事業で、要支援者を対象とした多様な主体による移動支援サービスの創設が可能となり、NPOや住民組織から取り組みの要望があれば支援していきたい。

他の質問 受動喫煙の防止、がん検診、国保税、性の多様性への理解、核兵器禁止



清水芳文 議員

Q 災害備蓄品としてマンホールトイレの導入、普及を

A 今後5カ年の事業計画の中で整備していく

質 問 災害時のトイレ環境整備に関連し、マンホールトイレの本格的導入、普及促進を。また、マンホールふたのカラー塗装など表示方法を提案する。

答 え 下水道マンホールがあれば、どこでも設置が可能な上部構造部分を、今年度新たに10基購入予定。増設は今後5カ年の事業計画の中で整備していく。マンホールふたのカラー化は、災害意識の高揚を図る効果があり、どこが適切な場所かを設置管理者などと協議し、その表示方法についても検討したい。

他の質問 防犯施策、災害時のトイレ環境整備、無電柱化の推進、発達障害者支援など



寺越和洋 議員

Q 小児科初期救急の（仮称）急病センターの開所は

A 平成30年4月1日にオープンを予定

質 問 金沢市を中心とする4市2町で形成する石川中央都市圏連携協約から、「（仮称）急病センター」の整備について、開所予定日と診療体制、今後の経費の負担と市民に対しての周知は。

答 え 平成30年4月1日にオープン予定で、金沢市駅西福祉健康センター1階に6市町が共同運営する小児科を設置。受診しやすいワンストップ・サービスに向けて関係医師会を中心に調整を行っている。経費の負担は今後検討を進めていく。広報紙等で周知する。

他の質問 強靱化地域計画、手取川浸水想定区域、豪雨対策、森林環境税、MEX金沢



吉本史宏 議員

Q 市街地における都市型水害に対する取り組みは

A 計画的に事業の進捗を図り、浸水対策に取り組む

質問 雨水の貯留施設や放水路、下水道の整備などの浸水対策事業は。

答え 市街地の雨水被害の軽減を図る目的で雨水調整池の設置を指導しており、公共施設や大型商業施設には駐車場などで雨水調整機能を持たせるとともに、雨水浸透ますを設置。下水道整備では、雨水排水施設の整備を本格的に始めており、倉部川雨水幹線事業、横江地区雨水幹線事業に着手し、鶴来地域の平等寺川流域も今年度、雨水排水対策として調査・設計を行う。

他の質問 巨樹巨木の保全・管理、食育の推進、シティプロモーションの取り組みなど



南 清人 議員

Q 機能別消防団を組織せよ

A 団員不足を補完できる最善の方法である

質問 消防活動に従事する団員の確保と団活動の効率化を目指し、一定の活動のみに従事する機能別団員、あるいは機能別消防団を組織せよ。

答え 機能別団員あるいは機能別消防団の制度においては、県内で8つの市町が導入しており、本市においても現状を考えると、団員不足を補完できる最善の方法である。今後も消防団、地域の方々と協議していきたい。

他の質問 オール白山体制にて道の駅めぐみ白山での直売品の流通体制の検討



石地宜一 議員

Q 白山総合車両所を核とした地域振興策は

A いろいろな形で全国にアピールできるよう展開する

質問 新幹線最先端技術のショールームと位置づけ全国のモデルに。加賀笠間駅舎を改修し、新しく鉄道公園や、国際会議もできるコンベンションホール、観覧車を造り、道の駅も共有し、東京ビッグサイトのような大きな地方創生の柱として全国、いや外国にも発信を。

答え 白山総合車両所等を活用した地域振興ビジョンを策定し、観光・産業振興プロジェクトチームと関係機関が一体となり、いろいろな形で全国にアピールできるようしっかり展開していく。

他の質問 人口減少対策について、災害時における要支援者への支援体制について



安田竹司 議員

Q 子育て世代包括支援センターの早期設置を

A 開設に向けて現在準備を進めている

質問 子育て中の保護者の約4割が悩みや不安を抱えており、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施する子育て世代包括支援センター設置の努力義務を法定化し、平成32年度末までの全国展開に白山市の対応は。

答え 子育て世代包括支援センター開設に向け、先進地視察や情報収集を進め、人員配置や具体的な運用について検討を行い、なるべく早い時期の開設に向けて調整していく。

他の質問 生涯未婚率、高架下の活用、猟友会への委託費、鳥越大日スポーツ施設の活用

常任委員会レポート

総務企画

汚水処理施設の整備と処理物の肥料活用

主な質問

★汚水処理施設共同整備事業（MICS事業）

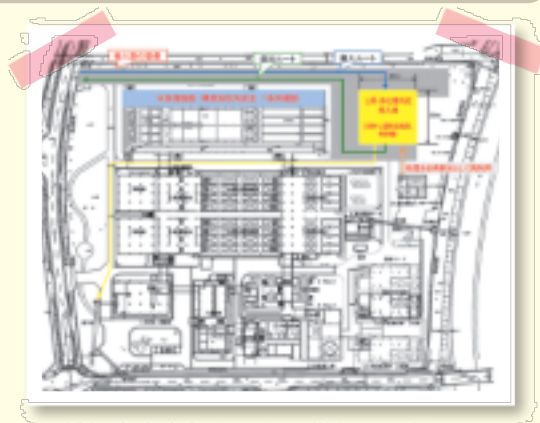
質問 し尿処理と下水道で国の所管が違うが、一緒にできるのがMICS事業なのか。

答え し尿処理、農業集落排水、下水道の汚水処理は共用部分が多いことから、MICS事業により共同処理ができることになった。

★処理物の肥料活用

質問 現在の処理物は焼却灰として埋め立て処分しているが、肥料として使えるように施設を造れないか。

答え 処理物を肥料として活用することについては、下水道担当課と検討したい。



松任中央浄化センター施設配置計画図

文教福祉

白山市共生のまちづくり条例の制定

主な質問

★白山市共生のまちづくり条例

質問 条例をつくるにあたって、障害という漢字の使い方について、話し合ったのか。

答え 「害」という字がふさわしい言葉かどうかという意見も出ていましたが、法律の用語等を見ると使われていますので、条例であるということで当事者の皆様にもご理解をいただいている。

★プレミアム・パスポート事業の第2子世帯の拡大

質問 3子世帯から2子世帯への拡大ということで、対象となる世帯が増える。サービスが低下しないか。

答え 特典はそれぞれの店舗によって違い、内容はあまり変わっていない。石川県が経済団体の会合の中で2子世帯は、3子世帯と同等のサービスでなくても協賛をしていただける企業や店舗をできるだけ増やしていきたいと説明していたと聞いている。

★白山市子ども議会

質問 過去3回実際にやってみて、子どもたちが振り返ることはやってきたのか。

答え 特に振り返るまでには至っていないが、今後そのような機会を持つことも視野に入れて考えたい。



昨年の子ども議会

産業建設 道の駅めぐみ白山

主な質問

★道の駅めぐみ白山のテナントの募集状況

質問 どのような事業者がテナントに入るのか。状況は。

答え 農産物直売所については両JA、レストラン等については経済団体をお願いをして調整を行っている。具体的な話が決まれば説明したい。



道の駅めぐみ白山イメージ図

★汚水処理施設共同整備事業（MICS事業）の建設費

質問 し尿処理施設より安価になるのは国庫負担の関係か。

答え 国庫補助率については、MICS事業が約2分の1、し尿処理施設が約3分の1となる。し尿処理施設を新設するには受け入れ施設、水処理施設、汚泥処理施設を造る必要があるが、MICS事業であれば受け入れ施設の新設で処理できることから有利であると考えます。

新たに設置された 特別委員会を紹介します

車両所活用による振興特別委員会

〔協議内容〕

白山総合車両所等の活用による

- ・観光振興に関する事
- ・産業振興に関する事

委員長 寺越 和洋
副委員長 石地 宜一

池元 勝	中野 進
大屋 潤一	田代 敬子
山口 俊哉	安実 隆直
吉本 史宏	永井 徹史
南 清人	安田 竹司
北嶋 章光	村本 一則
宮岸 美苗	岡本 克行
吉田 郁夫	清水 芳文
藤田 政樹	西川 寿夫



市議会にタブレット型端末機を導入しました



タブレット型端末機を使っの全員協議会

平成 27 年 5 月から導入に向けて協議を進めていたタブレット型端末機が、市議会 6 月会議から運用を開始しました。

議会運営委員会を皮切りに、全員協議会、本会議そして常任委員会と順次活用が始まりました。



検討の経過

行政情報などをわかりやすく市民の方々に説明することや、会議などで使用する紙資料を削減し、環境負荷を減らしていくため協議を開始しました。

- | | |
|---------|--|
| 平成27年5月 | 議会運営委員会で導入にむけて協議を始める |
| 7月 | 議長からの諮問を受けICT推進委員会の設置 |
| 8月 | 先進地にアンケート調査および行政視察を実施 |
| 9月 | 各社システムの機能および操作説明会
導入による費用対効果の検証
(最大50万枚の用紙削減が可能) |
| 10月 | 導入に向けての協議
議長へ答申書の提出 |
| 平成28年6月 | 情報通信特別委員会の設置 |
| 8月 | 機種および活用策の検討 |
| 10月 | タブレット型端末機の運用に関する基準の協議 |
| 12月 | 委員長から検討内容の報告、来期からの導入を決定 |
| 平成29年5月 | 操作説明会の実施 |
| 6月 | 6月会議から運用を開始 |



東京都立川市へ視察

～タブレット型端末機を導入することにより～

会議資料の電子化をはじめ、広報広聴活動、災害時における迅速な情報伝達などにも活用し、効率的な議会運営に努めていきます。

全国市議会議長会・北信越市議会議長会表彰

地方自治に貢献された4議員に、全国市議会議長会と北信越市議会議長会から表彰状が贈られ、6月5日の本会議前に小川義昭議長から伝達されました。

在職15年表彰

安田竹司

北嶋章光

村本一則

(前議員) 宮中郁恵



政務活動費のホームページでの公開が始まりました

市議会では、政務活動費の透明性を高めるため、6月15日からホームページで収支報告書などの（領収書は除く）公開を開始しました。



白山市議会

検索

公開の内容

- ①収支報告書
- ②項目別集計表
- ③支払調書（支払いごとに金額や内容を記載したもの）
- ④計画書・報告書（視察に行く目的や内容、成果をまとめた報告書）

なお、領収書については情報公開請求が不要となり、議会事務局（市役所6階）で閲覧できます。

※公開の対象は平成28年度分からの政務活動費になりますので、平成27年度以前の政務活動費については、従来どおりの手続きが必要になります。

市民の声

「市議会に期待すること」をテーマにご意見をいただきました。



福祉協力員制度を歓迎

木津町 ながおが 永岡 きんいち 金一さん



3月の議会を傍聴したとき、福祉推進委員の役割などについて質疑されて、私は民生児童委員をしていますので、非常に興味深く傍聴いたしました。

福祉推進委員は松任地区だけで他の地区では無い制度だと知り、白山市全体に広げて制度化できないものかと思いました。

5月の民生児童委員理事会で市からの報告の中に、福祉協力員制度の説明があり、これから各地で説明会を開くことになっていました。高齢化社会が急速に進む中、民生児童委員と福祉協力員が連携して活動することが必要になると思います。

走れ！進め！白山市

八幡町 すかい み や こ 酒井美耶子さん

私は、娘が生まれつきの障がいを持つ親です。娘は地域の小学校に通っています。白山市はそんな私たち親子にとってうれしい取り組みを始めました。それが石川県初の白山市共生のまちづくり条例です。この条例は障がいがあるなしに関係なく一緒に暮らすことを目的としたものです。議会でも可決され、10月には施行されます。

でも市民全体に知れ渡り、条例が体感できるようになるまでには、議員さんやいろんな方のお力が必要かと思っています。この条例から白山市がよりよい市になっていくよう期待しています。



地域づくりの変革を

山島台四丁目 なが だ ひ で こ 仲田日出子さん



市議会議員になられた皆様は市民の心熱い思いと、ご自分の4年間の抱負を持って議員活動に邁進なさっていることと存じます。

どのように実現し、どのように発展させるのか議会を傍聴し、また、テレビを拝見し期待しているところでございます。

変化していく時代に対応し企業進出、雇用創出などで市政をリードするとともに、地域の良さ（特性）を引き出し、永住子育て、高齢者にとっても住みやすい地域づくりの変革を期待しております。



議会傍聴を
お待ちしております

本会議当日、市役所7階で受け付けていますのでお気軽にお越しください

8月会議の予定

8月30日（水）10:00～	提案説明
9月 7日（木）10:00～	一般質問
9月 8日（金）10:00～	一般質問
9月25日（月）15:00～	表 決

広報広聴委員会

委員長：山口 俊哉 副委員長：池元 勝
委 員：中野 進、大屋 潤一、石地 宜一、村本 一則

針金や糊、熱も使わない製本技術「エコプレスバインディング」を採用しています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

発行日／平成29年8月1日 発行／白山市議会 編集／広報広聴委員会 事務局／白山市議会事務局議事調査課
〒924-8688 石川県白山市倉光二丁目1番地 TEL：076(274)9580 FAX：076(274)8510
E-mail：gikai@city.hakusan.lg.jp ホームページ：http://www.city.hakusan.ishikawa.jp



ゆきママとしずくちゃん